

# 平成28年3月期 第1四半期

平成27年4月1日～平成27年6月30日

## 補足説明資料

---

平成27年7月30日（木）

デジタルアーツ株式会社

（証券コード2326）

## 平成28年3月期 第1四半期連結業績

### ■ 前年同期比で大幅な増収・増益となる

売上高	803 百万円	(前年同期比 119.4%)
経常利益	85 百万円	(前年同期比 239.5%)

(単位：百万円)

連結	平成27年3月期	平成28年3月期	
	第1四半期 (実)	第1四半期 (実)	前年同期比
売上高	673	803	119.4%
営業利益	35	81	227.1%
経常利益	35	85	239.5%
四半期純利益	16	57	359.2%

- ✓ 連結売上高は前年同期比 **+130** 百万円と大幅増収
- ✓ 企業向け市場、公共向け市場で主力製品の販売が順調に推移
- ✓ 家庭向け市場についても販売が堅調に推移

## 連結売上高

売上高：**803** 百万円

(前年同期比 +130百万円 / +19.4%)

## 企業向け市場

売上高：**457** 百万円

(前年同期比 +77百万円 / +20.3%)

## 公共向け市場

売上高：**256** 百万円

(前年同期比 +48百万円 / +23.4%)

## 家庭向け市場

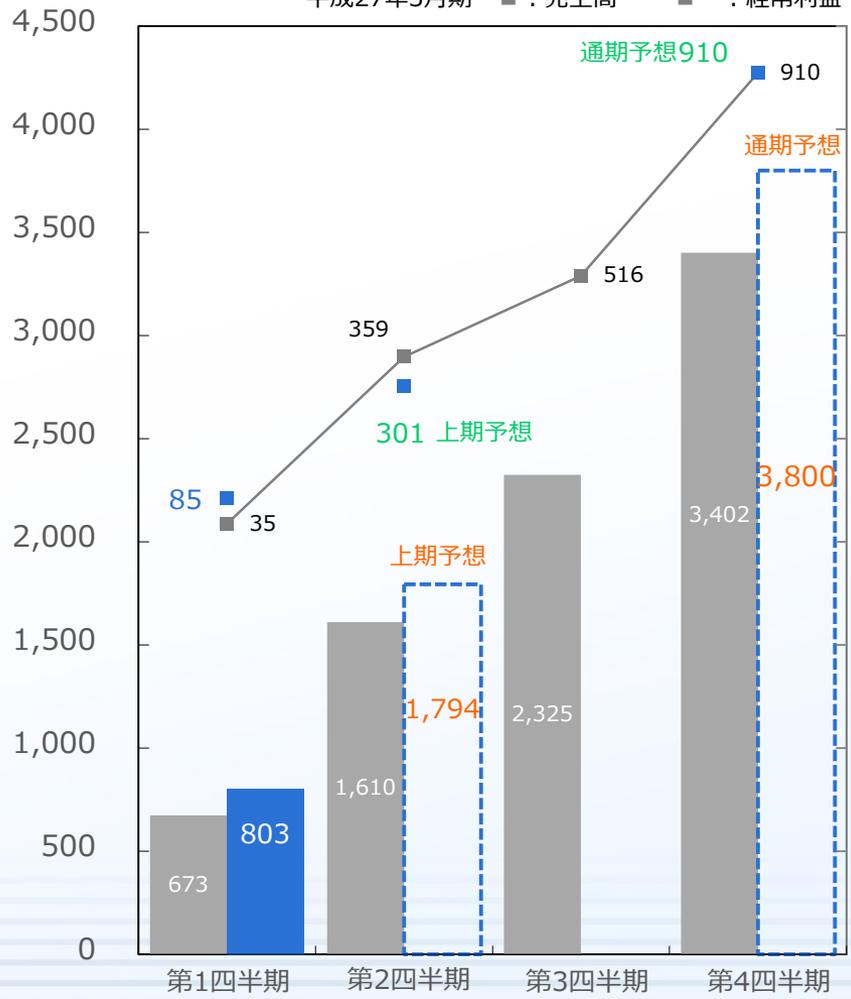
売上高：**89** 百万円

(前年同期比 +4百万円 / +5.4%)

## 業績の推移（連結）

(単位：百万円)

平成28年3月期 ■：売上高 ▲：経常利益  
 平成27年3月期 ■：売上高 ▲：経常利益



※平成28年3月期の予想は、平成27年5月8日公表の業績予想

1,000

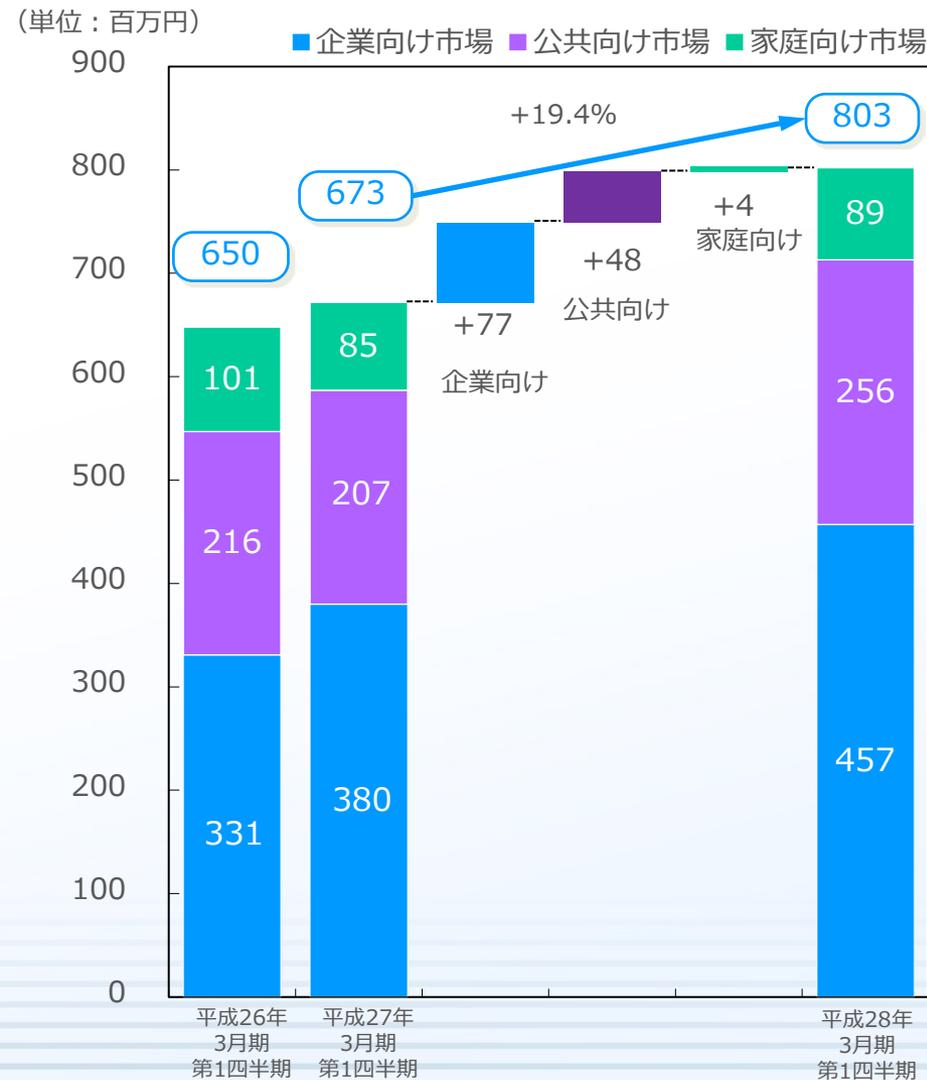
**売上高**

- 前年同期比：119.4 %
- 進捗率
  - 上期予想比：44.8 % (前年同期 41.2 %)
  - 通期予想比：21.2 % (前年同期 20.2 %)

**経常利益**

- 前年同期比：239.5 %
- 進捗率
  - 上期予想比：28.6 % (前年同期 10.6 %)
  - 通期予想比：9.4 % (前年同期 4.6 %)

## 市場別売上高の推移（連結）



連結全体

**803 百万円**  
(+130百万円 / +19.4%)

企業向け

**457 百万円**  
(+77百万円 / +20.3%)

公共向け

**256 百万円**  
(+48百万円 / +23.4%)

家庭向け

**89 百万円**  
(+4百万円 / +5.4%)

## 企業向け市場

### ■ 主力製品の販売が順調に推移

売上高：457 百万円（前年同期比+20.3%）

i-FILTER	+11.9%
m-FILTER	+51.1%
D-SPA	+39.8%
FinalCode	▲1.1%

## 公共向け市場

### ■ 企業向け市場同様、主力製品の販売が順調に推移

売上高：256 百万円（前年同期比+23.4%）

i-FILTER	+24.0%
m-FILTER	+8.1%
D-SPA	+86.5%

## 家庭向け市場

### ■ 堅調な売上を確保

売上高：89 百万円（前年同期比+5.4%）

- ✓ スマートフォン向けは、OEM提供による販売が順調に推移
- ✓ ゲーム端末向けは、前連結会計年度に導入された任天堂株式会社の携帯型ゲーム機「Newニンテンドー3DS™」向けの売上等により堅調に推移

## 海外関連市場

### ■ FinalCode, Inc.にて販売活動を開始

- ✓ 「FinalCode」が業界最大規模のITアドバイザリ企業であるガートナーの「Cool Vendors 2015」に選定される
- ✓ 小規模ながら、販売実績を挙げる
- ✓ その他具体的な案件の確保が進む

## ■ 企業および公共向け製品 トピックス

### i-FILTER (サーバー版)

- 最新版である「i-FILTER」 Ver. 9 へのバージョンアップが順調に推移
- フィルタリング機能のみならず、万が一マルウェアに感染した場合でも、その通信先をブロックすることにより情報漏洩を防ぐ出口対策としての有効性が再認識される

### i-FILTER (モバイル端末版)

- MDMを活用したチャネル政策や大型案件の獲得により成長
- 「i-FILTER」と同様、出口対策として有効であることや管理者があらかじめ端末内にWebアクセスデータを残さないように設定しておくことで情報漏洩対策としても有効であることから導入が進む

### m-FILTER

- 情報漏洩事故が相次ぎ、メールの誤送信対策への需要が高まる
- 「ルール」の柔軟な設定、社外宛メールの送信保留機能や特に重要なメールについては上席者の承認が完了するまで送信を保留する機能、添付ファイルの自動パスワード設定機能など「多彩で強固な誤送信対策」機能がお客様のニーズを捉え、引き続き売上が大幅に伸張

## ■ 企業および公共向け製品 トピックス

### FinalCode

- 標的型攻撃による情報流出・組織内部関係者による意図的な漏洩などの事件・事故が相次ぎ、従来のファイルのパスワードロックという対応では不十分であるとの認識が拡大
- マイナンバー制度の導入に伴い、マイナンバー法で要求される安全管理措置を満たすセキュリティ対策として「FinalCode」を検討されるお客様が増加
- 前年同期において相対的に高価格であるエンタープライズ版の受注があったため、実績は前年同期並みに止まるも、手軽に利用を開始することが可能なASPサービス（クラウド版）の販売が順調に進む

## ■ 家庭向け製品 トピックス

### i-フィルター

- MVNO含む携帯電話事業者やOEM提携先と連携し、スマートフォン向け「i-フィルター」や1つのシリアルIDでWindows、iOS、Android™の3つのOSで利用可能な「i-フィルター for マルチデバイス」の拡販をするとともに協業を拡大

# 売上原価と販売費及び一般管理費の状況



売上原価 211 百万円 (前年同期比 ▲7.5%)  
 販売費及び一般管理費 510 百万円 (前年同期比 +24.9%)

過去の大規模開発に伴う減価償却が前連結会計年度で完了し償却負担が減少。一方で、海外展開に伴う人件費の増加や国内・海外のイベント費用が増加。全て予算に織り込み済みであり、概ね計画通りに推移。

(単位：百万円)

連結	平成27年 3月期	平成28年3月期			
	第1四半期 (実)	第1四半期 (実)	前年同期比	対前年同期 増減額	主な増減要因
売上原価	228	211	▲7.5%	▲17	
労務費	93	86	▲7.3%	▲6	
減価償却費	82	70	▲14.8%	▲12	過去の大規模開発に伴う減価償却が前期で完了
他勘定振替その他製造原価	52	54	+3.7%	+1	
販売費及び一般管理費	408	510	+24.9%	+101	
人件費	189	250	+32.4%	+61	海外展開に伴う現地人員増加
広告宣伝費	61	94	+54.5%	+33	国内・海外のイベント費用増加
その他	158	165	+4.6%	+7	

# 平成28年3月期 通期業績の予想

<平成27年4月1日～平成28年3月31日>

---

 DigitalArts.

平成28年3月期からデジタルアーツは本格的なグローバル展開を開始いたします。

米国市場を含む世界のDLP（Data Loss Prevention：データ漏洩防止）市場は、大幅な成長が見込まれています。デジタルアーツは日本はもちろん、米国を含む主要な国々で「FinalCode」に関連した特許を取得し、グローバル展開の準備を進めてまいりました。

平成27年3月期、FinalCode, Inc.にセキュリティ業界における人脈と経験豊富な主力メンバーが揃い、販売体制も整いました。

平成28年3月期以降、北米市場からスタートし、早期にグローバルで拡販できるよう戦略的な投資を行ってまいります。

そのため、今後は個別業績と連結業績に乖離が発生することが予想されます。

平成27年3月期においても米国子会社への投資は行っておりましたが、平成28年3月期は約320百万円の先行投資を行いますので、平成27年3月期の実績（約68百万円）以上に個別業績と連結業績に乖離が発生する見通しです。

既存のビジネスの成長性については、従来の連結業績実績と平成28年3月期個別業績予想をご比較下さい。

従来通り既存のビジネスで安定的な成長を継続しながら、デジタルアーツの新しいチャレンジであるグローバル展開により新しいステージへと急成長を目指してまいります。

平成28年3月期 個別業績予想

■ 個別については、売上・各利益共に平成27年3月期の成長傾向を持続

売上高 37.6 億円 (成長率 10.9%)  
 経常利益 12.2 億円 (成長率 32.3%) の予想です

(単位：百万円)

個別	平成27年3月期	平成28年3月期	
	通期 (実)	通期 (予)	成長率
売上高	3,395	3,765	10.9%
営業利益	913	1,224	34.0%
経常利益	926	1,224	32.3%
当期純利益	573	759	32.3%

平成28年3月期 連結業績予想

**■ 連結については、米国子会社への先行投資があるも、平成27年3月期並みの利益を確保**

売上高 38.0 億円 (成長率 11.7%)

経常利益 9.1 億円 (成長率 0.0%) の予想です

※なお、費用には、米国子会社に関する先行投資費用として、約320百万円が含まれております

(単位：百万円)

連結	平成27年3月期	平成28年3月期	
	通期 (実)	通期 (予)	成長率
売上高	3,402	3,800	11.7%
上期	1,610	1,794	11.5%
下期	1,792	2,006	11.9%
営業利益	865	910	5.2%
経常利益	910	910	0.0%
当期純利益	531	548	3.2%

今後、重要な変化がある場合は適切に開示してまいります

本プレゼンテーション資料に記載されている計画、戦略、財務的予測のうち歴史的事実でないものは、将来の見通しに対する記述であります。本見通しは、当社経営陣が現在入手可能な情報に基づき判断したもので、環境等の変化により大きく見通しの変動する可能性があり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。今後、重要な変化がある場合は適宜開示してまいります。

本プレゼンテーションの基本的な数値の記載は、一部を除き百万円未満を切り捨てて表示しております。

- ・デジタルアーツ/DIGITAL ARTS、ZBRAIN、アイフィルター/i-フィルター/i-FILTER/i-FILTER EndPoint Controller、m-FILTER/m-FILTER MailFilter/m-FILTER Archive/m-FILTER Anti-Spam/m-FILTER File Scan、D-SPA はデジタルアーツ株式会社の登録商標です。
- ・FinalCode は株式会社アイキュエスの登録商標です。
- ・その他、記載された会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。

# DigitalArts®

- より便利な、より快適な、より安全な  
インターネットライフに貢献していく -